

## 報告書

### 4th Core-to-Core International Symposium in Bonn "3D Lab-Exchange Program"

#### 【出張者】

山本 光哉

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 生命医科学専攻

武田研究室 修士1年

#### 【訪問先】

ドイツ、ボン、The Festsaal/Senatssaal in the Main Building of the University of Bonn

#### 【滞在期間】

2018年3月5日（月）～2018年3月10日（土）（4泊6日）

#### 【概要】

早稲田大学、ボン大学、沖縄科学技術大学院大学、大阪大学、WABIOS、A\*STAR、Singapore Polytechnic、IIT、香港大学、そしてリューベック大学間で研究発表を通し、他大学の研究者と国際的に交流を深めた。私は、各発表の聴講及び、”Design of photo-responsive soft interface for dynamically controlling cell adhesion properties by changing wettability.”という題目でポスター発表をし、議論を深めた。本シンポジウムへの参加を通して、今後の研究活動へ向けた、非常に貴重な経験をすることができた、

#### 【スケジュール】

- 3/5 羽田空港を出発し、仁川空港を経由して、フランクフルト空港へ到着した。
- 3/6 シンポジウムへ出席し、口頭発表を聴講した。また、自身がポスター発表をした。
- 3/7 シンポジウムへ出席し、口頭発表および、ポスター発表を聴講した。
- 3/8 午前中はシンポジウムへ出席し、口頭発表を聴講した。午後は、ボン大学の方の案内で"Haus der Geschichte"のツアーへ参加した。
- 3/9 フランクフルト空港を出発した。（成田空港行、仁川空港経由）
- 3/10 仁川空港を経由し、成田空港に到着した。



3/6 シンポジウムにて  
シンポジウム参加者の集合写真



3/7 シンポジウムにて  
昨年武田研究室に交換留学に  
来ていた、ボン大学 Kolanus  
研究室の Angrit との写真